

竹のハーモニカ

プログラムの概要・ねらい

『自然の素材を使って、自然から音を出そう!』
とても簡単な自然のクラフトで、様々な葉っぱから音を出すことができる。厚い葉、薄い葉、単子葉、落ち葉、広葉樹等の葉っぱからは、二つとない音色が出てくる。葉っぱの厚み、単子葉・双子葉の違いによる音の変化から、葉っぱの仕組みについて学ぶことができる。

場所	団体：クラフト室、屋外 家族：サービスセンター前		
時間	30分～1時間		
値段	料金表参照		
季節	年間	人数	クラフト室 席数 48
準備物	【利用者】活動に適した服装、救急用品 団体：ぞうきん、新聞紙、ポスカ 【自然の家】材料（竹2枚、紙ヤスリ、輪ゴム2本、紙テープ）		

①準備

団体：材料をサービスセンター受付で受け取る。※材料数を確認する。
クラフト室の場合は、窓を開け部屋の換気を十分に行う。新聞紙を机の上に敷く。
家族：材料をサービスセンター受付にて購入し、備品を借りる。新聞紙を机の上に敷く。

②実施の流れ

【時間】

0:00 竹の内側（茶色い面）を紙ヤスリで平らにする。紙ヤスリを机などに置いて竹をこすり付ける。（写真①：左の竹）

竹の内側の真ん中を紙ヤスリでへこませる。（凹状にする）
へこませたら、材料の紙テープを二つの竹の間に挟み、試し吹きをする。（竹のすき間に口で息を吹き込む）（写真②）
音が鳴るようになったら、輪ゴムで両サイドを縛る。（写真③）

ハーモニカにポスカで絵や文字を書いてもよい。
※ポスカを使用する場合は、机の上に新聞紙を敷く。

0:30 片付け

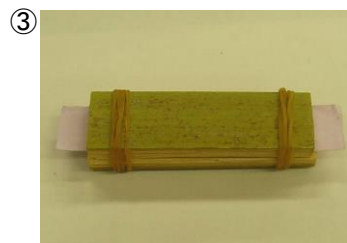
0:40 竹のハーモニカを持って外に出て、いろんな葉っぱをハーモニカに挟み、吹いてみる。

1:00 終了

【竹のハーモニカ作りのポイント】

- ・音が鳴りにくい場合は、竹の内側を削ってへこみを深くする。
- ・挟む物は、薄くて切り口がまっすぐのものがよい。
（葉っぱなら、薄い部分を切ると音が出やすい（写真①の最右の葉））
- ・挟む物はピンと張るようにして挟む。

※プログラムで他団体が使用している施設には、入らないように指導する。
※注意が必要な動植物があるので確認し、スズメバチや毒ヘビに遭遇した場合の注意を徹底する。（別紙 注意が必要な動植物参照）



③後片付け

団体：ぞうきんと備え付けの掃除用具を使い、掃除をする。※机と床の水拭きを必ず行う。
（掃除の仕方についてはクラフト室の掲示参照）
工具、部屋等の破損があった場合は、サービスセンター受付へ申し出る。
家族：机の上に敷いた新聞紙を木くずと一緒にゴミ箱へ捨て、机の上をきれいにする。
借りた備品をサービスセンター受付に返却する。